

安全データシート

作成日 2014年03月25日  
管理コード 14Mar19-004

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	レノックス ミリュー10
製造会社	
会社名	Auson AB
住所	スウェーデン
販売会社	
会社名	株式会社 創新
住所	東京都豊島区上池袋4-11-16
電話番号	03-3918-3100
FAX番号	03-3918-3511
推奨用途及び使用上の制限	脱グリース剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻醉作用)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
発がんのおそれの疑い  
眠気又はめまいのおそれ  
水生生物に有害

注意書き  
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
容器を密閉しておくこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置

環境への放出を避けること。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

保管

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。

廃棄

換気の良い冷所で保管すること。  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
トリナトリウム=2, 2', 2''-ニトリロトリスアセタート水和物	<3%	C6H6NNa3O6.H2O	(2)-1277	既存	18662-53-8
炭酸カリウム	<3%	K2CO3	(1)-153	既存	584-08-7
N-ポリオキシエチレンオクタデセンアミド	<2%	特定できない	(7)-1381	既存	26027-37-2
水	50-70%	H2O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5
エトキシ化 C9-11アルコール	10-20%	C(9-11)H(19-23)O(CH2CH2O)nH	(7)-97	既存	68439-46-3
ノルマルパラフィン	<10%	特定できない	(2)-10	既存	64771-72-8

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚を速やかに洗浄すること。  
 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、砂。
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	棒状注水。 可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
	関係者以外は近づけない。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
	漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	風上に留まる。 低地から離れる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
	環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。 少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
	技術的対策
	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項
	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 火気注意。

保管	接触回避 衛生対策	接触、吸入又は飲み込まないこと。 排気用の換気を行うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	安全な保管条件	保管場所には化学品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。 禁煙。
	安全な容器包装材料	酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2012年版)	ACGIH (2013年版)
トリナトリウム=2, 2', 2'' - ニトリロトリスアセタート-水和物	未設定	未設定	未設定
炭酸カリウム	未設定	未設定	未設定
N-ポリオキシエチレンオクタ デセンアミド	未設定	未設定	未設定
エトキシ化 C9-11アルコール	未設定	未設定	未設定
ノルマルパラフィン	未設定	未設定	未設定

設備対策  
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。

保護具  
呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具  
必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。  
保護手袋を着用すること。  
眼の保護具を着用すること。  
化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具を着用すること。  
安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。  
皮膚及び身体の保護具  
顔面用の保護具を着用すること。  
必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観  
物理的状态  
液体

臭い	色	黄色透明
臭いのしきい(閾)値		微臭
pH		データなし
融点・凝固点		9-10
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		100°C
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		>130°C
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		~1.000g/m <sup>3</sup>
溶解度		水に非常によく溶ける。
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常取り扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性		過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件		加熱、高温の物体、裸火。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、トリナトリウム=2, 2', 2''-ニトリロトリスアセタート-水和物 1450mg/kg、炭酸カリウム 1870mg/kg、エトキシ化 C9-11アルコール 1378mg/kg、水 > 5000mg/kg、ノルマルパラフィン > 5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が 5804.44mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の2%は毒性が未知の成分からなる。)
	経皮	成分の急性毒性値は、水 > 5000mg/kg、エトキシ化 C9-11アルコール > 2000mg/kg、ノルマルパラフィン > 3160mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が 17639.77mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の8%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性及び刺激性	吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 炭酸カリウム、エトキシ化 C9-11アルコールが区分2で、区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		GHS:H318(Auson AB 製品SDS(作成日2013/05/04))、および、エトキシ化 C9-11アルコールが区分1、成分濃度の合計が濃度限界(3%)以上のため、GHS:区分1「重篤な眼の損傷」に該当する。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。

発がん性	トリナトリウム=2, 2', 2''-ニトリロトリスアセタート-水和物が区分2で濃度限界(1.0%)以上のため、GHS:区分2「発がんのおそれの疑い」に該当する。
生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。 区分2の濃度が濃度限界(10.0%)未満であるため分類されない。 区分2(分類に寄与しない):トリナトリウム=2, 2', 2''-ニトリロトリスアセタート-水和物(全身毒性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	エトキシ化 C9-11アルコール、ノルマルパラフィンが区分3(麻酔作用)で、成分濃度合計が濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3(麻酔作用)「眠気又はめまいのおそれ」に該当する。(区分3(麻酔作用)と判定するに専門家の意見を聞いていない。) 区分2の濃度が濃度限界(10.0%)未満であるため分類されない。 区分2(分類に寄与しない):トリナトリウム=2, 2', 2''-ニトリロトリスアセタート-水和物(腎臓)
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性(急性)	エトキシ化 C9-11アルコールが区分2、ノルマルパラフィンが区分3で、区分2の成分濃度×10 + 区分3の成分濃度の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分3「水生生物に有害」に該当する。(本混合物の成分5%については水性環境有害性が不明である。)
水生環境有害性(長期間) オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。 モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規則	Regulatory Information by Sea Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air Not dangerous goods
国内規制	陸上規制 非該当 海上規制情報 非危険物 航空規制情報 非危険物

特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 重量物を上積みしない。 なし
緊急時応急措置指針番号	
15. 適用法令 化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)(2, 2', 2''-ニトリ ロ三酢酸のナトリウム塩)
16. その他の情報 連絡先	製造会社 Auson AB 販売会社 株式会社 創新 CHEMWATCH社 GHS-SDS NITE GHS分類公表データ Auson AB 製品SDS(作成日2013/05/04)
参考文献	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基 づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技 術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、 注意事項は、通常取り扱いを対象としたものではありません。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願い します。